今後の支援のお願い

運営主体の「福岡ファミリーハウス」は皆様の引き続きのご支援を必要としております。当団体は福岡市内に 3 つのハウスを運営しており、どの施設も 1 泊 1,000 円でご利用いただいておりますが当然ながら利用料だけでは運営や維持が難しく、大部分を寄付・支援会費・バザー収入などでまかなっております。ぜひ福岡ファミリーハウスの趣旨にご賛同いただき、今後もご支援賜りますようお願い申し上げます。

【寄付先口座】
ゆうちょ銀行
01740−1−50330

【福岡ファミリーハウス連絡先】
TEL：090-7988-8189
E-mail：fukuoka.familyhouse@gmail.com
HP：http://fukuokafamilyhouse.wixsite.com/home

メモリアルアルバム制作
GRASP

Fukuoka Family House

by Fukuoka Family House

シバタハウスができるまでの物語

The story until Shibata house is built

難病の子どもと家族のための家

FUKUOKA FAMILY HOUSE
シバタハウスプロジェクト

START

シバタハウス
プロジェクトのはじまり

私たちがつくりたいこと、
それは「家族で過ごす時間」

当たり前の日々、当たり前に過ごす時間
でももし、あなたの子どもが難病にかかってしまったら…。
長い入院生活は、子どもに孤独と不安を与え、家族にとっても大きな負担となります。
私たちは、難病と闘う子どもの心の支えになる「大切な家族の時間」づくりと、
それを支える家族を、精神的・身体的・経済的にフォローできる
ゲストハウスを作りたいと考えました。

「福岡ファミリーハウス」代表の高原登代子と申します。 この度は「シバタハウスプロジェクト」を支援してくださった皆様、本当にありがとうございました。多くの方の熱い想いが詰まったハウスが完成し、感謝と感動でいっぱいです。

福岡ファミリーハウス代表
高原　登代子

私たちの団体は、2000年より難病のための治療を受けている子ども（原則18歳以下）とその家族のための滞在施設の運営を行っています。病院から近くに安心して利用できる安価な宿泊施設があればいいのですが、その数は不足しており、病院から自宅が離れている家族にとって、数か月から数年に及ぶ通院や入院は、精神的・経済的に大きな負担となります。

福岡ファミリーハウスの活動は、1995年、九州がんセンター近くに有志の方が提供くださったマンションの1戸「あいのいえ」から始まりました。1998年に九大病院近くに院内親の会が「すまいるハウス」を開設、2000年にこの２つの施設が合併し「福岡ファミリーハウス」が誕生しました。その後、７か所のハウスを開設し、種々の事情で４か所のハウスを閉所し、2016年の時点で３か所のハウスを運営していました。2015年に福岡市立子供病院の移転に伴い、念願であった大型ハウス「ドナルド・マクドナルドふくおかハウス」がオープンし、私たちの活動もひとつの区切りの時を迎えていました。

Beginning of the project

活動も20年以上になり団体の解散も考えましたが、小児がん拠点病院に指定された九大病院の状況を考えると、ハウスの不足は確かで、やはり賃貸物件を借りてでも九大病院近くにハウスを確保したいと思い、私の幼馴染で九大病院近くに住む柴田さんに相談したところ、社屋兼ご自宅の向かいに所有されているアパートの２階部分３部屋が空いている、ここでいいなら提供するよと、嬉しい申し出を頂きました。

しかし、このアパートは築40年以上が経ち、長く使われて無かったこともあり老朽化は否めず、改装には相当の資金が必要になることと思われました。友人で住宅会社をされている中園夫妻に相談し、見積もってもらうと1300万円以上はかかるだろうと・・・

正直、これは諦めるしかないかと思いましたが、病院から徒歩５分の立地、長年のハウス運営の経験から何より近い事が利用者の皆さんにとって大事なことはわかっていたため諦めきれずにいました。

この状況を理解し、活動に共感してくださった中園さんから、どうしてもかかる資金をクラウドファンディングで募り、資材の調達はメーカーや業者さんに協力を仰ぎ、実際の作業をご自身も所属されている工務店さんたちのグループ「俺たち工務店ズ」のプロが指導して、建築を学んでいる学生さん達とボランティアの方々で行うという計画の提案を頂きました。

本当にこの夢のような計画が実現可能なのか？
心配なことは山のようにありましたが、事前に行った病院でのアンケート結果や付き添いの家族の声に、もうこれは「やるしかない！」、「走りながら考えよう！」と、「シバタハウスプロジェクト」は、スタートを切りました。そして、その後のたくさんの出会いや熱い支援の輪が拡がり、結果は後述の物語をご覧ください。

シバタハウスオーナー
柴田　澄代

何より、始めのきっかけを下さり、無償で施設を提供いただき、工事費の一部負担や多額のご寄付、工事期間中の物心共のご支援を下さった、柴田澄代様、柴田徹也様に心からお礼申し上げます。

700名近くの優しく熱い想いが詰まった、この「シバタハウス」が、病気と闘う子供たちと、たくさんの不安を抱えながら付き添う家族にとって「病院近くの第二の我が家」となれるよう「福岡ファミリーハウス」一同、大切に育て、守っていきます。

語り尽くせぬ感謝をこめて・・・

「福岡ファミリーハウス」　代表　高原　登代子

01

長い入院生活を家族が支えきれなくなってしまう現実

小児がんなどの難病の治療には、専門の医療機関へ通院や長期入院が伴います。「病気と闘う幼い子どもの側にずっといてあげたい」子を持つ親の身ならば当然のそんな思いとは裏腹に、子どもの病気に対する心配や仕事の不安、家に残した家族とのすれ違い、さらには二重生活による経済的負担と、難病の子どもを抱える家族の闘病生活には数えきれない苦労があります。

子どもと家族が、治療への意欲がもてるようなサポートを！
築40年以上のアパートのリノベーションプロジェクト！

病気と闘う子どもと家族のつらさを誰かが変わってあげることはできません。でも、決して楽ではない闘病生活を希望を持って乗り越えていってほしい！ ストレスの無い入院生活を送るための直接的サポートだけではなく、家族のそばにいることの安心感や生活の楽しさを感じられるハウスにするために、シバタアパートの 2 階部分をリノベーションし、価値あるゲストハウスを作りたい。私たちはそう思いました。

ゲストハウスでできること

1

自宅から病院が遠いので、外来受診や面会で泊まる

遠方の方にとって病院に通うことは経済的、時間的な負担です。ゲストハウスでの宿泊は、その負担を軽減します。

2

入院している子どもに、お母さんの手料理を作る

入院中の子供にとって家庭の味は特別なものです。食欲がおちた子供に、大好きな料理を食べさせることができます。

3

付き添いに疲れたときの心と体のリフレッシュに使う

家族にとって長時間の付き添いは緊張感を伴い疲れます。ゲストハウスでの休息は、付き添いの疲れを和らげます。

4

治療中の子どもが家に帰る練習として外泊する

遠方の自宅に帰るということは子どもや親にとってとても不安なことです。テスト外泊として利用できます。

READY FOR?

02

アパート改修費用の一部をクラウドファンディングで調達

クラウドファンディングとはインターネット上で実行させたいプロジェクトや目標を発信して共感した人や応援したいと思ってくれる人を募り、支援金を集めることのできる仕組みのこと。シバタハウスプロジェクトでは、改修にかかる総費用およそ1350万円のうち、クラウドファンディングで300万円を募りました。資金だけでなく、建材・設備機器等の提供も広く募集しプロジェクト実現に向けて動き出しました。皆様から予想以上のご支援をいただき目標金額の300万円を突破することができました。「柴田徳商店」の博多曲物と「高柳商店」の博多鋏をご支援をいただいた方々への返礼品としました。

クラウドファンディングで支援金をご協力くださったみなさま

<100,000円>
nob
nobu
yumiko
メガネ
タワーの浩ちゃん
小野
永利 義久

<50,000円>
たまさん
中宮 三佐子
佐久本 盛扶
加田 礼佳
Masahiro Kato
野本 真理子
豆福
築城 美由紀
薙野 耕平
イクノ 郁乃
高原 登代子

<30,000円>
渡辺 里実
白あんこ
入江 彰
ミーちゃん
高原 雅子
すずめふくろう
園田 有里
ADR
中島 健太郎
hanamari
辰巳 節典
広田 修
Yoko Jozaki
照井 善明
宇佐美 明日香
Junko Mori
設計機構ワークス
佐藤 郁乃
渋田 愛子
古賀 友紀
たま
木谷 登志子
Itsuki Shimokura
kouji
柴ッチ
きゃは
まる
hiro
原 文美
温子
多尾田 文香
Reiko Nishikata
かめかえるうさぎ
中園 よし恵

<10,000円>
久保田 美保
井本 達也
島野 律子
めぐみ
相良 友也
角沖 雄二
Kazuhisa Itoyama
松本 哲
松本 安紀
むんくまん
伊藤 敬一郎
mizutamania
ken
城石 聖子
sie3
junjun1967
msz213
林田 賢一
わーぼー
Shinichi Motoda
teto
林 舞子
ブルーパラディン
中宮 大介
花田 恭子
ちえ
Jamie Wolcott
chie
大城 寛雅
嶋本 桐子
ゆげ
Saori
叶 貴子
michihisa arai
kirin
kohaku
MasaakiOrikasa
川鍋 浩
ほてい
大野 圭介
Masako Otani
のらのら
ヒロ
吉崎 裕一
Tomomi Ichikawa
Fujiya Cigarshop
しみず
園田 久美
末広 京子
ちんちくりん
本多
安川 哲宣
坪井 幸隆
織田 朱
Miyuki Macri
和三盆
内藤 真澄
坂本 剛
Sachiko Funaki
Itsuro Miyazaki
kinoppy
生涯青年
中島 佳織
小林 亮寛
オオノ 寿子
yukko
まきすけ
ユカッペ
濱田 洋平
momo
幸せのサチ
村松 健太
sden
ジン
あんにんパパ
Toku
チョコチップ
なみ
樋口 千加子
光武 美紀
高原 健吾
和田 明美
さやんぼ
さち
さあぼう
ひまわり

<3,000円>
114名

（敬称略、順不同）

現金にて支援金をご協力くださったみなさま

柴田 徹也

蓮尾 エリ

ウエダショウヘイ
二宮 八千代
勝木 四郎
藤井 千佐子

髙原 百枝

杉プラスチック工業(株)
村松 一秀

結城 弘明
柴田 京子
小田邊 英昭、美香

松崎小児科医院
清原 英明
トジママリコ
岩崎 啓子
山下 知賀子
藤本 愛
橋本 裕通
田上 浩子

村上 秀
前川 雅子
一木 景子
山添塗装
らーめん屋たつし
ミツヤスカヨ
コイカワマリ
カワノヒロユキ

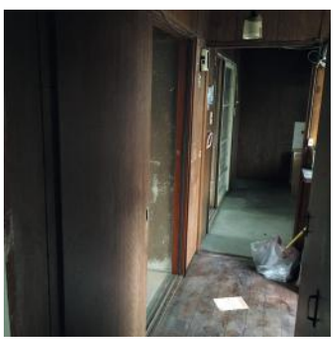
他9件

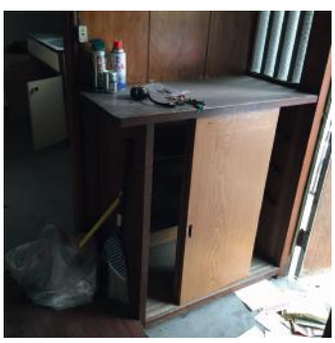
（敬称略、順不同）

時代とともに古くなっていたアパートを再生

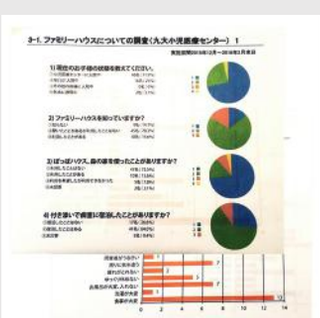
九大病院から徒歩5分、築40年以上のアパートが
難病の子どもと家族をサポートするゲストハウスに

Before





いろいろな方々にお声かけしたところ、支援・協力して下さるメンバーが続々と集まりました。募金を募りながら同時進行でアパートの現地調査、図面おこし、ロゴ・チラシの作成などスタートに向けて準備を進めました。



病院でのアンケート調査

アパートの現地調査

プランニングと図面作製

ハラプロ（株）
小杉 達
Sloup
佐藤 渉
相良友也建築工房
アーキ・スタッフ設計工房
（公社）インテリア産業協会九州支部
QBキャピタル合同会社
福岡県室内装飾事業協同組合
（順不同）

KICK-OFF 03

九大病院近く 小児患者家族の新滞在施設

看病の間 休まる空間を

アパート改修 今秋開設へ

学生や企業協力 寄付も募る

毎日新聞　2016年5月29日付

2016 年 4 月 14 日、作業や資材・備品等の提供に協力を呼びかけ、手を挙げて下さった方々が一同に会し、プロジェクトのスタートを内外に発表する「キックオフミーティング」を行いました。
事前に行った九大病院でのアンケート調査の回答を見てもこのプロジェクトの必要性は明らかでした。
病気と闘う子供とその家族のために「病院近くの第二の我が家」を作る！ この日初めて集った方々が、この想いを共有し、協力しプロジェクトを成功させることを誓い合いました。
多くのマスコミも取材してくださり、その後もたくさんの個人や団体、会社へと支援の輪が拡がっていきました。

シバタハウス ロゴマーク

シバタハウスのｓとｈ。ｓの子どもとｈの母親が寄り添っている様子を可愛らしくデザイン。

SHIBATA HOUSE

ロゴデザイン・チラシ・イラスト製作
テツシンデザインオフィス

サンクスレター制作
元気アートプロジェクト

ボランティアにはいろいろな方法があるということ、ほんの少しの自分ができることで相手も自分も喜べることがあることをみんなに発信し続けました。

・クラウドファンディング
・寄付金

・安く購入できるもの
・調達方法の情報提供

・調達できるもの
・提供できるもの

・リノベ体験がしたい人
・炊き出しができる人
・作業のサポートができる人
・情報を拡散できる人

・職人さんやプロの技

04 外部工事スタート！

足場屋さんにご協力いただきいよいよ外部の工事からスタートです。外壁は塗装ボランティア集団「塗魂ペインターズ」の皆さんが大勢で全国から駆けつけ、学生ボランティアさんへの塗装指導と作業を行って下さいました。その後、外部照明や玄関ドア、割れたサッシの入れ替え、屋根の修理も行われました。

（株）慎興業
ルーフステイト

全ての工事期間中、作業で消費したエネルギーをしっかり補給してもらうために炊き出し隊もお昼ごはん作りを頑張りました。

＜塗魂ペインターズ＞
(株)ミヤケン
一友ビルドテック(株)
ハウスリペイント 佐々木塗装
アーチテクター誉
(有)相馬工業
(株)佐藤塗装
(株)トラストワーク
(有)麻布
柳川塗装店
(有)大野塗装
フジタ塗装
(有)成田塗装
大同防水工業(株)
(有)藤目塗装
(有)川田建装
(有)沢田塗装店
大川内塗装(株)
(有)西谷工業
(合)上野塗装店
野添塗装
(株)東明
(株)ヌリケン・プラス
井上塗装店
ひまわりペイント
(有)ふじ美塗装
(株)大森塗装
(株)みつも塗装
(株)姫野塗装
(有)タサキ塗装
山添塗装

＜協賛メーカー＞
(株)ニシイ
日本中央研究所(株)
(株)日進産業
TOTOエクセラ(株)
三興塗料(株)
(株)アステックペイントジャパン
(株)進栄塗料商事
(株)リクト

全国から集まったボランティア塗装集団 塗魂ペインターズの活躍！！

プロフェッショナルとしての『特技』を社会に還元したくて結成された塗装ボランティア団体、塗魂ペインターズ。シバタハウスプロジェクトでも大いに活躍してくれました。当初のプランニング段階では２階と階段部分の塗装予定でしたが、心意気で一棟丸ごと光触媒の塗料で塗り替えてくださいました。

熊本地震の被害を受けた直後にもかかわらず駆けつけてくださった九州長の遠山社長。

（左、中央）感謝状の贈呈、（右）シバタハウスのロゴマークに目入れ式

外部工事から内部工事へバトンタッチ

外部塗装を終えるとシバタハウスプロジェクトは内部工程へと移行。家づくりのプロフェッショナル集団「俺たち工務店ズ」が担当。その引継ぎ式が行われました。熱い想いはしっかりと次の人たちへと繋がれました。

俺たち工務店ズ

福岡で地元の工務店（家をつくる人たち）が集まって結成されたものづくり集団。 家づくりにとどまらず、つくることのたのしさを伝える活動やイベントを開催しています。

＜俺たち工務店ズ＞

飯尾建設（株）

（株）大慶ビルド

（有）クィーンズホーム

（有）松光建設

（有）辰巳工務店

（株）梁hari　棟生工務店

ひきだし工務店

福建住宅（株）

05
内部工事
解体

次の工程はアパート内部の解体工事へ。築４０年以上の建物を利用者の声を取り入れた間取りに変えるために壁を打ち抜き、不要なコンクリートを砕く作業が『俺たち工務店ズ』の指導のもと学生のボランティアスタッフを中心に行われました。みんな真っ白になりながらの大変な作業でした。

（株）システムワン
勇正興業（株）
エステートアサヒ(有)

なかなか手強いコンクリートだぞ

浴室の不要なコンクリートを砕く作業。

「どうせつくるなら楽しくカッコよくつくろうよ」

「どうせつくるなら楽しくカッコよくつくろうよ」ということで、リノベーション体験をしてもらう方々を募りました。麻生建築＆デザイン専門学校、福岡工業高校、町田ひろこアカデミーの先生、生徒さんたちが手を挙げてくださり現場が学びの場にもなっていきました。

大工工事

猛暑の中、『俺たち工務店ズ』の陣頭指揮のもと様々な学生さんたちと共に床や壁を張っていく大工工事が行われました。また、給排水や電気工事も同時に行れ、現場は様々な人たちの声で賑わいを見せていました。指導員の指示を真剣に聞き、頭をフル回転させ手を動かす学生さんたちの姿が頼もしかったです。

(株)鷹野材木店
(株)ウッドワン

参加した学生さんの感想より

学校では体験できない実際の仕事をさせていただき、とても貴重な体験をすることができて良かったです。

この五日間の体験で、授業では学べないことや、わからないことなどを、働くことによってたくさん知ることができました。この貴重な体験を今後の就職試験などに生かしていきたいと思います。

このインターンシップを通して、大工仕事のやりがいや大変さだけでなく、このプロジェクトに関わっている方々の優しさや繋がりも知ることができました。女性が大工につくのは難しいと先生から聞いていますが、この先どのような分野に進んだとしてもこの体験を活かしていくことができると思います。

＜施工に参加してくれた学生のみなさん＞

麻生建築＆デザイン専門学校
照井 善明（非常勤講師）
稲吉 大樹（教諭）
渡辺 築
岡本 悠志
永田 将大
原田 誠也
三浦 功大
立野 瑛二郎
中野 綾
中村 仁紀
小島 明日香
吉野 夏未
水上 菜緒
大崎 日菜乃
新宮領 愛
原園 明里
森 穂菜美
柴山 佐恵子
久永 和佳
松口 誠佳
村上 雅成
亀崎 文哉
北野 絢子
藤田 莉帆
湯場崎 茉由
庄嶋 康平
黒木 千広
井本 亮介
山本 利奈
津野 真衣奈
森 大之
藤 壮駿
飯田 康介
椎原 颯太
戸田 康介
田中 喜大
山口 俊
内田 大貴
木村 海斗
原田 和希
吉村 太喜
村上 優珠
岩本 崚
楪 大虎
牧野 雄大

福岡工業高校
安松 信雄（教諭）
稲葉 瞳
岡村 知恭
清武 悠也
田中 一士
三宅 涼
森田 千春
吉田 祐基

福岡大学 工学部建築学科
四ヶ所 高志（助教）
元田 凌正（大学院生）
西野 雄大
和田 孝成
森山 理香子
山形 毬乃
壬生 恭仁
田島 みのり

Internal construction
内装工事

06

それぞれのプロの職人さんに教えていただきながら、ボランティアスタッフでペンキや珪藻土・漆喰を塗り、壁紙貼りも行いました。予想以上の大変さに職人さんたちの凄さを思い知りました。

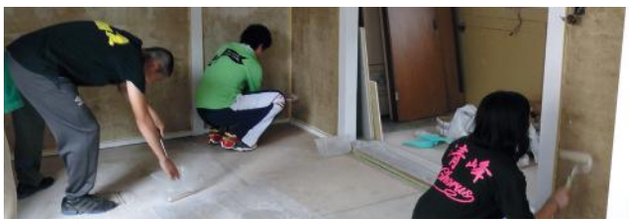
町田ひろ子インテリアコーディネーターアカデミー
椛島 京子（事務局）
田中 知法
奥田 優
登 舞香
山田 綾乃
西嶋 ゆき枝
武本 裕佳

ペンキ塗装

珪藻土塗り

漆くい塗り

壁紙貼り

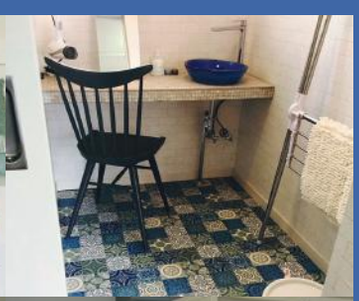


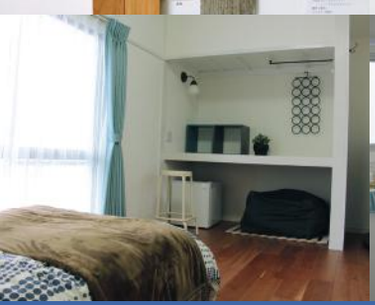
＜施工・資材・物品提供＞
（株）ニシイ
山添塗装
（有）田中塗装工業
（株）福一工業
（有）大木装美
トムズインテリアサービス
西村 学
（株）小川の家
二瀬窯業（株）
（株）GS タカハシ
（株）サンゲツ九州支社
リリカラ（株）
シンコー九州（株）
アスワン（株）
（株）プラネットジャパン
杉原 津矢子
鮎川 真理

＜ご協力いただいた方々＞
（株）シバタ
久木田 務
川辺 啓吾
東條 幸雄
東條 恵美
小田邊 英昭
小田邊 美香
小田邊 達也
小田邊 千尋
本田 隼人
中園 摩美
中園 紫月香
柴田 京子
青柳 陽子
斎藤 有紀
内藤 真澄
山本 章子
飯尾 翠
木谷 登志子
木谷 美香
棚田 則子
花田 恭子
刀根 直美
葉石 小百合
太田 真知代
宮崎 佐和子
山添 有子
岩佐 敦子
海老井 悦子
松田 美幸
近藤 幸恵
翼の会 第２９回生
（般財）恵愛団
金澤バイオ
小関 佳孝
（順不同）

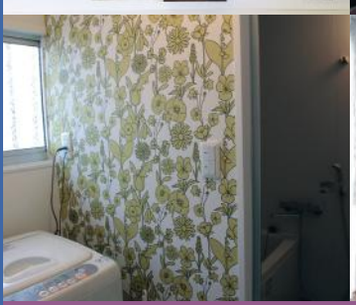
201

202





共用スペースと単身向きの１ルームとの組み合わせ。共用スペースには、会議に利用できるマグネットボードや大きい食器棚とキッチン、ガス乾燥機付洗濯機も設置され、調理・洗濯のみでも利用できる空間になっております。単身ルームのコンセプトは、西海岸スタイル。真っ白な漆喰の壁にアクセントカラーのマリンブルーの建具、洗面ボウルがポイント。

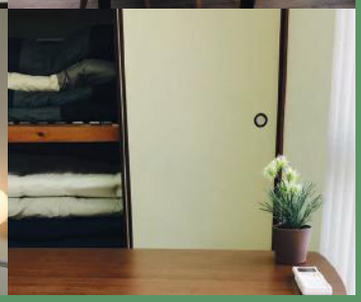


インテリアコーディネーターのセンスが光る特性を持った空間に

２K の広さの古いアパートを、新しく改装するのだけではなく、部屋別にコンセプトを決め、プランニングと施工管理を行いました。病棟でのお母様方とのヒヤリングや、アンケート、利用者の感想ノート等から 要望を読み取り、厳しい毎日を過ごされている皆様に、ほんの少しでも心地よい時間を過ごしていただけるような空間づくりを目指しました。

203

間仕切り壁を取り除いた二間つづきの空間は多人数での宿泊も対応可能。洗面台をドレッサーのようにベッドサイドに配置し、機能面も充実させました。イメージはシャビーシック。ラベンダー色の珪藻土壁に白のペイントでアクセントを加えエレガントな女性らしい仕上がりに。色褪せせず衛生的なペーパーコードの畳も優しい色で。



二部屋を使い分けできるよう、元の間取りや素材を活かして落ち着いたお部屋に。イメージはレトロ。造り付けの家具も内部を美しくしそのまま利用しました。床は無垢材に自然塗料。壁紙は空気をきれいにする機能付き。ダイニングのイスはリメイク致しました。和室はイグサの畳が落ち着く香りを放っています。

まず、各部屋のコンセプトを基本に、使い勝手、収納、配光・コンセント位置等のプランニング。次に水回り設備、内装材、照明器具、窓廻り、家具等、細部にまでこだわった商材の組み立て。今回プロジェクトに賛同して下さったメーカー様、協力業者様との打合せと交渉。予算に合わせた商材の決定。できる作業は、職人さんからの指導を頂きながらの施工も行いました。プロジェクトが進むにつれ、参加頂いている方々の士気も高まり、計画していた商材仕様よりワンランク上の商材が搬入されたりと、たくさんの方々の思いがこもった部屋へと仕上がりました

<ICズ>

入江 明美	江田 カリン
中川路 美和	渡辺 里実
堀川 ゆかり	平石 まりこ
江崎 雅美	森 ユカ
遠藤 純子	金縄 砂子
佐久本 侑恵	笠 邦彦
中園 よし恵	

『IC ズ』とは、福岡ファミリーハウスの活動に賛同し、住空間をトータルプロ デュースする「インテリアコーディネーター」の有志団体です。

07 Warm Room

設備	トクラス(株) TOTO(株) (株)キューハウ 坂口　源治 原　哲生
電気	おにき電設 輝電設
ガス	西部ガス(株) 西部ガス設備工業(株) (株)ツバメガス福岡
畳	鶴田畳店 (株)竹田コーポレーション
窓回り	(株)川島織物セルコン トーソー(株) エイブル
家具	(株)ハウジング・カフェ (株)藤栄 なたねこ チャレキッズ
美装	おそうじ本舗　二日市店

Fixtures carried and *Cleaning up*

備品搬入・美装

様々な企業や一般の方々によってたくさんの備品が届けられました。さらにボランティアスタッフの手によってダイニングチェアもリメイク。ここでは子どもたちも大活躍。また美装作業により部屋の隅々も見違えるようにきれいになっていき、ついに完成!

シバタハウスオープンセレモニー

08

SHIBATA HOUSE

シバタハウスオープンを 2 日後に控えた 2016 年 10 月 29 日、100 名を超える関係者がお集まり下さり、九大医学部百年講堂にてオープニングセレモニーを行いました。オーナーの柴田さん始め、参加者全員にプロジェクトとの関りや熱い想いを語って頂き、笑顔と感動の涙がいっぱいの温かいセレモニーとなりました。最終的にこのプロジェクトに関わって下さった方は、総勢 700 名程になりました。その一つ一つのピースの形や大きさは違いますが、それぞれが繋がり結ばれシバタハウスというパズルは完成しました。どのピースが欠けてもこのプロジェクトの成功は無かったでしょう・・・

感謝です。

ＮＰＯファミリーハウス（東京）
事務局長　植田洋子氏による乾杯

福岡ファミリーハウス理事